

令和5年度 日中サービス支援型グループホーム評価委員会について

1 対象事業所

RASIEL（ラシエル）沼津

ソーシャルインクルーホーム沼津西沢田、沼津松長

ふわふわ沼津西沢田

2 実施経過

9月22日 11月22日に評価委員会を実施する旨を事業所宛てに通知。実施に先立ち、10月20日までに報告・評価シートを提出するよう併せて依頼。

10月20日 各事業所から報告・評価シートの提出あり。

11月22日 事業所出席のもと、評価委員会を実施（サンウェルぬまづ3階会議室）
RASIEL → 管理者1名出席

ソーシャルインクルー → 西沢田及び松長の管理者各1名出席

ふわふわ → エリアマネージャー、施設長・管理者各1名出席

11月30日 11月22日の実施記録と評価案を委員宛てに送付。

1月9日 助言、要望等を取りまとめた報告・評価シートを事業所に送付。今後の対応、改善等の予定を2月9日までに提出するよう依頼。

3 主な指摘事項

・地域との交流を深めることにより、災害発生時等にも、サポートを受けられる関係を構築すること。

地域との交流について、一部の事業所では地元のイベントに参加するなどの実績が見られた一方で、地域防災訓練への参加等、防災面における地域との連携に関しては、いずれの事業所においても、現在検討中の状態でした。大規模な風水害や地震発生時には、地域の協力が重要であることから、更なる交流の取り組みを求めたところです。

・外部研修へ積極的に参加すること。

外部研修に参加している事業所もありましたが、社内研修がメインであり、外部研修未参加の事業所も見られました。幅広い視野を持つためにも、外部研修への積極的な参加と活用を求めたところ。また、本市自立支援協議会のグループホーム連絡会についても、同業他社の話を聞くことなどの効果について説明をし、参加の呼びかけをいたしました。

・地域生活支援拠点等の事業所登録を検討すること。

地域生活支援拠点等については、いずれの事業所も本社の意向等の事情から登録に至っていない状況でした。現在、本市においても体制整備を行っていることから、登録に向けた前向きな検討を依頼しました。

4 来年度以降にむけての課題

本年度、新たなグループホームが1か所開所しました（リビットホーム&ナース沼津・9月開所）が、開所から間もないことから、今回はグループホーム連絡会への参加をもって評価委員会への出席に代え、来年度から評価委員会に出席することとしました。また、新規開所を目指して準備中のグループホーム2か所の情報（うち1か所は2月1日開所）があることから、来年度は少なくとも6社7事業所が評価対象となります。今後も、事業所の増加傾向が継続するもの予想されることから、これに対応するため、評価委員会の開催回数や、質疑の方法等について、評価委員の皆様とも協議し、検討を継続していくこととしました。